

《同時発表》

中国地方整備局、廿日市市



令和2年2月25日

港湾局産業港湾課

「みなとオアシスみやじま・みやじまぐち」を登録します

～日本が誇る世界文化遺産、人と神々が共に生きる島!～

国土交通省港湾局は、令和2年2月29日に「みなとオアシスみやじま・みやじまぐち」（広島県廿日市市）を港の賑わい拠点となる「みなとオアシス」に登録します。

代表施設である「宮島棧橋旅客ターミナル」「宮島口旅客ターミナル」等において、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われ、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながることを期待されています。

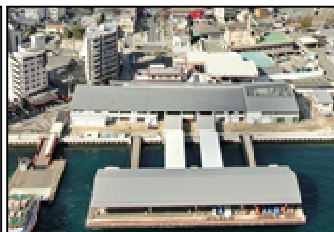
- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「みなとオアシスみやじま・みやじまぐち」の登録により「みなとオアシス」は全国138箇所になります。
- 2月29日（土）は「みなとオアシス登録証交付式」に合わせて、「宮島口旅客ターミナル供用記念式典」が行われる予定です。また、式典終了後、15時から新ターミナルより乗船可能になる予定です。

「みなとオアシスみやじま・みやじまぐち」のポイント!!

- ★代表施設「宮島棧橋旅客ターミナル」は、世界遺産厳島神社を有する宮島の玄関であり、年間450万人以上の方が観光・通勤・通学等に利用しています！
- ★もう一つの代表施設「宮島口旅客ターミナル」は、宮島や廿日市市全域の観光案内を行う観光案内所、廿日市の海と山の幸の販売を行う物販スペース、各種イベントを開催する多目的スペース、宮島の文化や歴史などを発信する情報発信・交流拠点です！
- ★宮島口では宮島への玄関口としてのおもてなし、宮島では四季を通じて様々なイベントが行われており、日本を代表する世界文化遺産を活かした賑わいを創出していきます！



【代表施設】
宮島棧橋旅客ターミナル



【代表施設】
宮島口旅客ターミナル



みやじまぐちそぞろまちあるき
マルシェ



春を呼ぶ宮島清盛祭り

※「みなとオアシス」の関連情報については、下記URLからもご覧いただけます。

- ・国土交通省港湾局HP：http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk1_000001.html
- ・一般社団法人ウォーターフロント協会HP：<http://www.waterfront.or.jp/oasisu/about.html>

<問い合わせ先> 港湾局 産業港湾課 担当：柳、黒木

Tel:03-5253-8111（内線46-452、46-453）

03-5253-8673（直通） Fax:03-5253-1651

【概要】みなとオアシスみやじま・みやじまぐち



国土地理院地図 (電子国土Web) (<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成



■ : みなとオアシス代表施設
■ : みなとオアシス構成施設

【基本情報】

設置者	廿日市市
運営者	宮島口まちづくり協議会 / 宮島まちづくり協議会
所在港湾	厳島港【地方港湾】
港湾管理者	広島県
登録日	令和2年2月29日

【代表施設】



宮島口旅客ターミナル



宮島 staircase 旅客ターミナル

【主なイベント】



みやじまぐち
そとろまちあるきマルシェ



宮島かき祭り



春を呼ぶ宮島清盛まつり

島そのものが
信仰の対象だ
神々が宿る島



撮影：新谷孝一



世界文化遺産区域

人と神々が共に生きる島

宮島の歴史

宮島は、太古からその山容に靈気が感じられたところから、周辺の人々の自然崇拝の対象となっていました。

厳島神社は、社伝によりますと推古元年（593）に佐伯部【さえきべ】の有力者であった佐伯鞍職【さえきくらもと】により現在の場所にご創建されたと伝えられています。

1400年の歴史を持つ世界文化遺産

厳島神社

平成8年12月、「厳島神社」が、ユネスコの世界遺産委員会で正式に世界文化遺産として登録されました。世界遺産として登録された区域は、社殿を中心とする厳島神社と、前面の海、及び背後の弥山原始林（天然記念物）を含む森林区域431.2ヘクタールです。厳島全域の約14パーセントを占める広い範囲にわたっています。

重さは60トン、その重みのみで立つ

大鳥居

国重要文化財・厳島神社の大鳥居は、木造で両部鳥居（四脚鳥居）です。高さ約16.6m、棟の長さ24.2m、主柱周り9.9m、総重量は約60t、木部は丹塗り、主柱は楠の自然木を、袖柱は杉の自然木を使っています。現在の大鳥居は、平安時代から8代目にあたり、明治8年（1875）に再建されました。



あなごめし Anagomeshi

このアナゴは宮島と本土側の大野町との“大野瀬戸”でよく獲れ、カキなどと並ぶ、宮島の味の代表格として名を馳せています。宮島でも好んで釣る人が多く、サンマの切り身などで釣るとよく釣れるとか・・・

あなごの骨からとった出汁に味をつけて炊いたり、タレを染み込ませたりしたご飯の上に、じっくりと焼き上げた穴子を盛り付けた「あなご飯」。明治30年に開業した旧宮嶋駅の駅売弁当として生まれました。



宮島清盛まつり



宮島の繁栄の礎を築かれた平清盛公の遺徳を偲び、“平家一門の巖島神社参詣行列”をモチーフとした「清盛まつり」を行います。桜の開花も間近な春の宮島で清盛公一行の“平安絵巻”をお楽しみください。



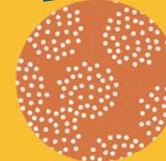
もみじ饅頭



宮島の深く色とりどりに紅葉した楓は、多くの参拝者や観光客に喜ばれます。もみじまんじゅうは、「県花」でもあり、「宮島町の木」でもある紅葉を型取って造られたものです。

もみじまんじゅうを発売した人物は、明治後期の和菓子職人 高津 常助(たかつ つねすけ)とされています。紅葉谷にある旅館 岩惣 の女将から「大切なお客様への手土産に、紅葉谷の名にふさわしい菓子が作れないか」と依頼され、「紅葉形焼饅頭」を完成させました。

カステラ生地の中に「こしあん」を入れたものが一般的ですが、現在は60種類以上の味が楽しめます！



みやじまぐち そぞろあるきマルシェ



西中国山地の豊かな自然から、瀬戸内海の恵み、守り続けられた歴史や文化といった多種多様な資源がある廿日市市。

そんな廿日市市の中でも、出会いをもとめて多くの人が行き交う宮島口でマルシェを開催することで、廿日市市や宮島口の持っているポテンシャルを多くの人に知ってもらい、楽しんでもらいたいと考え2016年10月からスタートしました。



みなとオアシスみやじま・みやじまぐちへの交通アクセス

交通アクセス

みなとオアシスみやじま・みやじまぐちの代表施設である「宮島口旅客ターミナル」は広島市内より約60分の場所にあり、JR、路面電車、車、高速船でお越しいただけます。

「宮島栈橋旅客ターミナル」へは、宮島口旅客ターミナルからフェリーで約10分の場所にあります。

<JR・路面電車>

- JR広島駅からJR宮島口駅まで約30分
- 広電広島駅から広電宮島口駅まで約75分

<車>

- 岡山・大阪方面よりお越しの場合
広島岩国道路から一般道へ 廿日市ICを下車後約10分
- 山口・九州方面よりお越しの場合
広島岩国道路から一般道へ 大野ICを下車後約10分

<航路>

- 広島港から高速船を利用の場合 約32分
- マリーナホップから高速船を利用の場合 約25分

<フェリー>

- 「宮島」へは宮島口栈橋よりフェリーで10分。
宮島口 = 宮島間の連絡船は、JR西日本宮島フェリーと宮島松大汽船の2社が運航しております。

周辺の宿泊情報・観光案内の問合せ先

宮島を満喫するためのお役立ち情報満載！

【廿日市市環境産業部観光課】

電話：0829-30-9141（代表）

E-mail：kanko@city.hatsukaichi.lg.jp

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/>

